

平成31年度 学校経営基本方針

H31. 4. 1

柏原市立堅下北中学校 校長 太田 貴之

柏原市教育目標

すべての子どもに生きる喜びと、たくましい力を

子どもたちがいきいきと活動する学校

～ 子どもも教職員もいきいきと活動している学校 ～

「北中の校風」



「授業第一 多彩な行事 活発な部活動」

信 頼

- 「教職員と子どもたちの信頼」
- 「教職員と保護者との信頼」
- 「子どもたちどうしの信頼」
- 「学校と地域との信頼」
- 「教職員どうしの信頼」
- 「管理職と教職員の信頼」

校 訓

本気 根気 元気

めざす教師像

「with の精神」

子どもたちと共に学び、共に活動し、共に
苦しむ、共に涙し、共に喜ぶ

学校教育目標

「生きる力」を身につけ、生涯にわたり、心豊かに、たくましく、主体的に生きる生徒の育成に努める。

本年度重点目標

「本気」

めざす子ども像 (小中共通)

- (1) 確かな学力(自ら考える力)をもつ子ども
- (2) 豊かな心(やさしさ、共生する力)をもつ子ども
- (3) 豊かな社会性(コミュニケーション力)をもつ子ども

開かれた学校

- ① 学校評議員会の活用
- ② 学校教育診断等の外部評価公表・活用
- ③ 学校の情報公開(ホ-ムページや学校通信の更なる充実)
- ④ 授業参観等の学校行事の公開の推進
- ⑤ 学校を核とした教育コミュニティの創造
- ⑥ 地域・外部人材の活用
- ⑦ 参観・行事等の感想・意見の活用

知識・技能を習得し、活用して自ら考え、判断し、表現する力を

知

徳

他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を

体

たくましく生きるための健康や体力を

読解力の育成

- 習熟度別少人数授業や T・T の実施
- みんなの学習クラブの活用
- 外部人材による補充学習
- 研究授業・教員同士の授業参観による授業力向上
- 朝読書活動による言語活動の充実
- 小学校との家庭学習週間の連携
- 授業スタンダード(共通実践)
- 中高連携による書写活動
- 学力向上推進委員会・教科会議の活性化
- 10 3人から4人の学習班の活用**

1 KITA の実践 積極的な「生徒指導」

ことばづかい せいそう タイム あいさつの充実

2 人権教育の推進

- 支援教育の充実による豊かな心の育成。
- 道徳教育の充実による思いやる心の醸成
- 生徒会活動の活性化による自主性の育成
- 体験学習の充実による社会性の育成
- 聞き取りや出会いによる人権感覚の育成
- SC の活用

1 部活動の充実

- ① できるだけ顧問がつく
- ② 開始 練習終了後の指示の徹底
- ③ ルール・マナー・時間厳守、挨拶・整理整頓・道具の扱い等の指導の徹底をめざす。
- 2 健康・保健・安全に対する理解の促進
- 3 体育行事の活性化による体力向上